

平成30年度版

機械振興補助事業の 交付要望書作成の手引き

- ・振興事業補助
- ・公設工業試験研究所等
- ・研究補助

日本が生んだ世界のスポーツ



公益財団法人 **JKA**

②

はじめに

この手引きは、「自転車等機械振興事業に関する補助事業の選定の基準及び補助の方法に関する規程」第32条及び「小型自動車等機械振興事業に関する補助事業の選定の基準及び補助の方法に関する規程」第32条(両規程を総称して以下「機振規程」という。)の規定に基づき、補助金交付の要望手続を記載したものです。

補助金の交付要望にあたっては、平成30年度補助方針及び本手引きに従い、補助金交付要望書類と関連書類を作成し、添付書類とともに提出してください。

要望書提出先 公益財団法人JKA
補助事業部 機械振興事業課

住 所 〒108-8206 東京都港区港南一丁目2番70号
品川シーズンテラス25階

U R L <http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

☆平成30年度補助要望に関するお問い合わせは、「競輪&オートレースの補助事業」ホームページ <http://hojo.keirin-autorace.or.jp/> 上部の『お問い合わせ』をご利用ください。(電話でのお問い合わせはご遠慮ください)

(回答には混雑状況に応じて数営業日かかることがあります)

目	次
I. 補助金交付要望の申請にあたっての注意事項	1
II. 「要望書類」の作成について	3
1. 下書きシート(基本情報)	3
事業コード	5
2. 下書きシート(事前計画)	6
事業形態コード表	10
公益目的事業について	11
3. 事業者フロントでダウンロードできる申請書類	13
(1) 交付要望書	13
(2) 事前計画／自己評価書	14
(3) 事業者の概要(1・2)	15
III. 「関連書類」の作成について	17
1. 事業者の概要(3)	17
2. 補助事業の概要(事業の実施予定表)	18
3. 補助事業の概要(事業経費比較表)振興事業補助	21
// 公設工業試験研究所等	23
// 研究補助	29
4. 補助金要望申請に係る了承証明書	31
5. 補完資料	34
IV. 「添付書類」について	35
1. 反社会的勢力でないことの誓約書	35
2. 機器内容についての説明書	36
V. 提出資料について(チェックリスト)	37
VI. 補助事業の評価について	38
VII. 補助事業の実施内容及び成果の公表について	45

I. 補助金交付要望の申請にあたっての注意事項

この章では、補助金交付要望の申請にあたっての全体的な注意点について記載をしています。

1. 補助対象となる事業は、「平成 30 年度 補助方針」に示す「補助対象事業」として記載されている事業であることが必要です。要望をされる際は、要望する事業が「補助対象事業」に該当するかについて十分に確認してください。

2. 申請方法(詳細は「インターネットでの要望手続きに関する手引き」を参照してください。)

「[競輪&オートレースの補助事業](http://hojo.keirin-autorace.or.jp)」ホームページ <http://hojo.keirin-autorace.or.jp> におけるインターネット上での手続きと別途要望書類の郵送が必要となります。

(1) インターネットでの要望手続きにあたっては、先ず事業者登録をしてください。

(29 年度補助事業において、既に登録済の事業者については、登録の必要はありません。)

(2) 申請期間内に、インターネットによる申請を済ませてください。

(3) インターネットによる申請を済ませた後、次ページの『申請に必要な書類』を郵送してください。

3. 郵送方法

(1) **簡易書留**にて提出してください。(※普通郵便、メール便等は不可)

(2) 受理証明は発行していないため、「簡易書留郵便」の控えを各自大切に保管してください。

(3) 封筒の表面右上に朱書きでインターネット申請番号(18△△○○○○…)を記載してください。

4. 各種手続きの期限 及び 期間

	振興事業	公設試	研究補助	備考
事業者登録	9月13日(水)15時まで	11月20日(月)15時まで		期限までに登録しないと、申請できません。
インターネット申請	8月1日(火)10時～ 9月14日(木)15時	10月16日(月)10時～ 11月21日(火)15時		申請期間中に申請しないと、要望は受け付けられません。
書類の郵送	9月20日(水)17時まで	11月27日(月)17時まで		JKA 必着です。期限までに到着しない場合、要望書類は受付できません。

5. 補助金交付要望書作成上の注意

(1) 補助を要望する事業は、平成 30 年 4 月 1 日以降に事業を開始し、平成 31 年 3 月 31 日(研究補助の複数年研究は平成 32 年 3 月 31 日)までに完了することとし、その計画策定にあたっては、その内容を十分検討してください。

(2) 消費税を含む全ての税は内税としてください。

(3) 書類は全て A4 版片面印刷で作成し、JIS 規格の2つ穴をあけ、綴じ紐で綴じて提出してください。

(4) 記入内容、記入方法についての問合せは、十分な時間的余裕をもってお問い合わせください。

6. 事業実施上の注意

(1) 補助事業は、法人の定款・寄附行為等に定める目的及び事業に合致するものであって、法人自らが実施する事業に限られます(地独以外の公設試、研究補助は除く)

(2) 補助事業の計画及び方法並びに収支予算を変更しようとする場合は、あらかじめ本財団の承認を得る必要があります。

(3) 補助事業者(法人)は、定款又は寄附行為、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書及び役員名簿の情報公開を行ってください。

(4) 事業実施の際は、事業等の設定方法や事業評価体制の適正運用に鑑み、次の事項を遵守してください。

- ① 補助事業である旨の表示
- ② 補助事業の実施内容及び成果の公表(P45 参照)
- ③ 事前計画／自己評価の実施

(5) 本補助事業により取得した物件につきましては、原則として5年間管理をしていただきます。

【申請に必要な書類】

		振興事業		公設試		研究補助	Step1	Step2	Step3
		財団法人等	国内企業	地方自治体	地独				
① 要望書類	交付要望書	全ての補助要望手続きにおいて、必要です。					補助事業HPから「下書きシート」をダウンロードし、入力	事業者フロントで入力(アップロード)し、確定	全書類1セットを郵送
	事前計画/自己評価書								
	事業者の概要(1・2)								
② 関連書類	事業者の概要(3)	○	○	—	○	—	補助事業HPから該当書類をダウンロードし、入力 様式はP34 参照	事業者フロントでファイルを添付し、登録	
	補助事業の概要(事業の実施予定表)	○	○	○	○	○			
	事業経費比較表	○	○	○	○	○			
	補助金要望申請に係る了承証明書	—	—	—	—	○			
	補完資料	○	○	○	○	○			
③ 添付書類	反社会的勢力でないことの誓約書	○	○	○	○	○	補助事業HPよりダウンロードの上、入力	該当する書類を準備	
	法人の履歴事項全部証明書(発行から3か月以内)	○	○	—	○	—			
	寄附行為・定款	○	○	—	—	—			
	機器の説明書・見積(写)・カタログ	—	—	○(※)		—			
	論文	—	—	—	—	○			

※公設試の機器の説明書等については、機械設備拡充事業のみになります。

Ⅱ. 「要望書類」の作成について

この章では、インターネットでの要望手続きを行うに当たり、その事前準備について説明します。

インターネットによる申請を行う際は、「競輪 & オートレースの補助事業」HP の「[インターネットでの要望手続きに関する資料のダウンロードコーナー](#)」からダウンロードした「下書きシート」に予め記入・確認し、申請内容の準備をしてください。

なお、「下書きシート」につきましては、必ず平成 30 年度要望用をご使用ください。

「下書きシート」は、「基本情報」と「事前計画」の 2 種類があります。

記入が完了した「下書きシート」は、要望手続きを行う[事業者フロント]でアップロードすることにより、画面への直接入力を省略することができます(アップロードの方法などについては「インターネットでの要望手続きに関する手引き」参照)。

※総事業項目数が 2 以上の申請をする場合

「事前計画」の下書きシートを、コピーして複数作成し、それぞれのシートに対し、事業項目ごとの内容を記載してください。

[事業者フロント]でアップロードした順番で、項番 1、項番 2…と、順番にシステムへ反映されます。公設試の機械設備充事業を申請する場合は**希望する機器の順番に項番を並べてください。**

1. 下書きシート基本情報 ※は必須項目です。

No.	項目	注意事項
1	本要望の発翰(発信)番号 ※	・法人固有の、事業年度毎に管理された文書番号を記入してください。(20 文字以内 例:「〇〇発第△△」 「号」の文字は入力不要です。) なお、 研究者は入力不要 です。
2	本要望の発翰(発信)年月日 ※	・文書の発信年月日を記入してください。 (年月日の間は半角ハイフンを入れてください(例:2016-9-1))
3	競輪・オートレース ※	・「競輪」か「オートレース」いずれの補助金での実施を希望されるかを、プルダウンから選択してください。 ※競輪・オートレースのいずれに要望しても、同様に取り扱われます。
6	補助事業名	振興事業・研究補助 → 当該事業に見合った名称をご記入ください。 (「平成 30 年度」「補助事業」部分は初期値で入力されていますので、重複して記入しないでください。) 公設試 → 自動的に入力されるため、編集不要です。
7	アピールポイント ※	・本申請事業のアピールポイントを、できるだけ平易な言葉で、簡潔かつ明瞭に、255 文字以内で記入してください。なお、事業項目数が複数の場合は、事業項目毎に箇条書き等でわかりやすく記入してください。
8	補助事業を簡潔に示す名称 ※	・30 文字以内
9	補助事業を分かりやすく説明した概要 ※	・当該補助事業の概要をわかりやすく、1024 文字以内で簡潔かつ明瞭に記入してください。(箇条書きも可)
10	補助事業の目的 ※	・当該補助事業全体を俯瞰した目的と、それぞれの事業項目ごとの目的との関連性について、簡潔かつ明瞭(箇条書き等)に、150 文字で記入してください。
11	補助事業の内容 ※	当該補助事業全体を俯瞰した内容と、それぞれの事業項目ごとの内容との関連性について、簡潔かつ明瞭(箇条書き等)に、300 文字で記入してください。

No.	項目	注意事項
12	事業完了予定日 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・事業項目ごとの完了予定日のうち、最も遅い日付(ただし、2019年3月31日を超えない日)を記入してください。(例:2018-3-31) [研究補助の複数年度研究は2020年3月31日] ・P18(別添1)「補助事業の概要」(事業の実施予定表)と合わせてご確認ください。

・No.4～5については、事業者フロントで事業コード選択した時点で自動的に決まるため、入力不要です。

公益目的事業情報 ※は必須項目です。

No.	項目	注意事項
13	事業種類 ※	・P11「公益目的事業について」より、該当する「種類」をプルダウンから選択してください
14	事業区分 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・P11「公益目的事業について」より、該当する「事業区分」(P. 12)をプルダウンから選択してください。 ・当該事業が複数の「事業区分」に該当する場合には、主とする「事業区分」を選択してください。
15	チェックポイント	・No.14 で選択した「事業区分」毎に掲げられた「チェックポイント」に沿っているかを、「 公益認定等ガイドライン 」のP40～52で確認し、全て沿っている場合は「沿っている」を、沿っていない項目がある場合は「沿っていない」をプルダウンから選択してください。
16	チェックポイントに沿っていない場合の理由(全角20文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・「公益認定等ガイドライン」をクリックして確認してください ・No.15 で「沿っていない」を選択した場合は、沿っていない該当番号(①,②,・・・)を算用数字(丸無し、1, 2, …)で記入してください。

連絡先:事務担当者 <直接事務に携わること担当者(本財団からの問合せ等に対応できる者)を記入してください。>

※は必須項目です。

17	事業者所在地と同一※	・連絡先名称・住所が事業者所在地と異なるかどうかを、プルダウンから選択してください。「異なる」を選択した場合、17-1～17-7にもご記入ください。
17-1	事業者名称	・64文字以内で記入してください。
17-2	事業者名称カナ	・全角カナ 64文字以内で記入してください。
17-3	郵便番号	・半角数字 7文字で記入してください。
17-4	都道府県名	・プルダウンから選択してください。
17-5	住所	・36文字以内で記入してください。
17-6	建物名・部屋番号	・25文字以内で記入してください。
17-7	方書・その他	・25文字以内で記入してください。
18	所属部署 ※	・25文字以内で記入してください。
19	役職 ※	・16文字以内で記入してください。
20	氏名 姓 ※	・8文字以内で記入してください。
	氏名 名 ※	・8文字以内で記入してください。
21	氏名 カナ 姓 ※	・全角カナ 16文字以内で記入してください。
	氏名 カナ 名 ※	・全角カナ 16文字以内で記入してください。
22	e-mail(半角) ※	・半角英数 100文字以内で記入してください。
23	電話1(半角) ※	<ul style="list-style-type: none"> ・最も連絡が取りやすい電話の番号を入れてください。 ・ハイフン(-)を使用しないで入力してください。例)0312345678
	電話1区分 ※	・区分はそれぞれ「勤務先、自宅、携帯電話」から区分を選択してください。
24	電話2	<ul style="list-style-type: none"> ・次に連絡が取りやすい電話の番号を半角で入れてください。 ・ハイフン(-)を使用しないで入力してください。例)0312345678
	電話2区分	・区分はそれぞれ「勤務先、自宅、携帯電話」から区分を選択してください。
25	FAX	・ハイフン(-)を使用しないで、半角で入力してください。例)0312345678

他の団体に対する補助申請又は補助申請予定 ※は必須項目です。

26	申請又は予定の有無 ※	・平成 30 年度に行う予定の同一事業に関して、他への申請又はその予定の有無を「あり・なし」から選択してください。
27	申請又は予定の団体名称	<ul style="list-style-type: none"> ・No.26 がある場合のみ、100文字以内で記入してください。 ・事業項目数が複数の場合は、事業項目毎に箇条書き等でわかるように記入してください。

事業コード

事業区分	対象事業概要	補助事業名	コード	補助率
振興事業	自転車・モーターサイクル・障害者スポーツの支援に資する事業	自転車競技に関する機材等の開発・改良・調査・研究等に関する事業	A1001	9/10
		自転車・モーターサイクルを活用した環境にやさしい社会づくりに資する事業	A1004	
		障害者スポーツに関する機材等の開発・改良・調査・研究等に関する事業	A1005	
	安全・安心、生活の質の向上及び防災・減災に関する事業	安全・安心、生活の質の向上に資する取組みに関する事業	A2001	4/5
		自然災害等に対する防災・減災のための調査・研究等に関する事業	A2003	
		障害のある人が幸せに暮らすための機器の開発・改良	A2004	
	国際競争力強化に資する標準化の推進	国際競争力強化に資する標準化の推進	A3001	3/4
	公設工業試験研究所等	機械設備拡充事業	A4004	2/3
		人材育成等	A4003	
		共同研究	A4005	
ものづくり支援、地域産業の振興、省エネルギー等への支援	ものづくり支援に資する事業	B1001	1/2	
	地域の機械産業の振興に資する事業	B1002		
	省エネルギー等の環境分野の振興	B1003		
研究補助	研究補助	個別研究	C1001	1/1
		若手研究	C1003	
		開発研究	C1006	
		複数年研究	C1007	

2. 下書きシート(事前計画)

・補助事業の審査は、事前計画を基に行われます。記入にあたっては、次の各点について十分留意してください。

1. 簡潔にわかり易く、かつ他の関連資料を参照しなくとも内容が把握できるよう、過不足なく情報を盛り込んでください。

なお、「補完資料の〇〇で説明」といった記載は、不可とします。補完資料に十分な記載があっても事前計画／自己評価書の記入が簡略化されている場合は、該当項目について「十分な説明がされていない」とみなします。

2. 当該要望事業の背景となる社会的課題及び、当該要望事業に対するニーズを明確に示してください。

3. 事業内容を実施体制(人)、方法(物)、資金の側面を含め具体的に記入してください。

4. 事業終了後の自己評価時に事業の達成状況が明確に把握できるよう、事前計画において、「目標値」等を具体的に記入してください。

5. 複数項目を要望する場合は、それぞれの項目について、その特徴を分かりやすく記入してください。

なお、事業項目項番は保存(アップロード)が完了した順に付番されます。項目の並びを意図している場合は、保存の順番に注意してください。特に公設試の機械設備拡充事業については**希望する機器の順番に項目をアップロードしてください。**

※ 「下書きシート」につきましては、必ず平成30年度要望用をご使用ください。

※複数項目ある場合は、項目ごとに事前計画を入力してください。

No.	要望申請(事前計画) ・申請項目 ※は必須項目を表す。	注意事項
1	事業項目項番	記入不要
2	事業項目名 ※	・46文字以内
3	事業形態分類 ※	・P10の事業形態コード表の「分類コード」(B,E,F,G)をプルダウンから選択してください。
4	事業形態詳細 ※	・P10の事業形態コード表の「詳細コード」(01~99)をプルダウンから選択してください。※先にNo.3を選択して下さい。
5	事業費総額 ※	記入不要
6	補助対象経費総額 ※	・要望する事業項目ごとの補助対象経費総額(補助金+自己負担金)を半角数字、千円単位で記入してください。 ・P21~P30「事業経費比較表」の補助対象経費総額の合計欄(複数項目ある場合は該当する小計欄)と同じ金額であることを、予めご確認ください。
7	補助金交付要望額 ※	・要望する事業項目ごとの補助金額を半角数字、千円単位で記入してください。 ・P21~P30「事業経費比較表」の補助金の合計欄(複数項目ある場合は該当する小計欄)と同じ金額であることを、予めご確認ください。

要望履歴:種別

8	種別 ※	・要望する事業が下記の何れに該当するか、その種別をプルダウンから選択してください。 (1)新規要望 (2)複数年度要望(初年度) (3)複数年度要望(2年目以降) (4)複数年度要望(最終年度) (5)継続要望 ※振興事業、公設は(1)、(5)のいずれかを、研究補助は(1)、(2)のいずれかを選択してください。
---	------	--

要望履歴:複数年度要望

9	経過年数	半角数字で入力して下さい
10	総計画年数	半角数字で入力して下さい

要望履歴:継続要望

11	計画開始年度	西暦・半角数字4文字で入力して下さい
12	計画年数	半角数字で入力して下さい
13	中断の有無	「中断」の有無を「あり・なし」から選択してください。

委託:委託事業

14	委託事業の有無 ※	・委託事業とは、アンケート調査の集計、シンポジウムの会場設営・運営等を外部に委託して行うことをいいます。 ・「委託事業」の有無を「あり・なし」から選択してください。
15	金額	・No.14で「あり」を選択した場合は、その委託事業の金額を、半角で記入してください。
16	委託比率	・委託事業の金額が補助対象経費総額に占める割合を小数点第2位まで(小数点第3位以下切り捨て)、半角で記入してください。

委託:委託調査

17	委託調査の有無 ※	・「委託調査」の有無を「あり・なし」から選択してください。
18	金額	・No.17で「有」を選択した場合は、その委託調査の金額を、半角で記入してください。
19	委託比率	・委託調査の金額が補助対象経費総額に占める割合を小数点第2位まで(小数点第3位以下切り捨て)、半角で記入してください。

委託:委託想定先

20~ 22	委託想定先1	20文字以内
-----------	--------	--------

補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)

23	社会的課題の現状 ※	・補助事業で改善、解消、解決等を目指す、「社会的課題」の「現状」を明確に、255文字以内で記入してください。
24	目指す姿 ※	・「社会的課題が解決等された、社会の状況=目指す姿」(補助事業が最終的に目指すこと)を明確に、255文字以内で記入してください。

補助事業の直接的な目的

25	目的 ※	・「目指す姿」の実現のために、補助事業の実施結果、成果により達成を目指す「補助事業の直接的な目的」を明確(箇条書き等)に、255文字以内で記入してください。
----	------	--

(1) 受益者

26	受益者とそのニーズ ※	・ 要望する事業の 受益者 が誰かと、その ニーズ(必要性) を、255文字以内で記入してください。 (受益者)この事業により利益を受ける対象(人又は組織)を記入してください。なお「直接的に受ける対象」と「間接的に受ける対象」が分けられる場合は、分けて記入してください。 (ニーズ)なぜ本事業に取り組まなければならないか、その必要性、背景等を具体的に記入してください。
----	-------------	--

(2) 事業内容

27	事業内容 ※	・ 受益者のニーズに応え、補助事業の目的を達成する為に行う事業の内容を具体的に分かり易く(箇条書き等)、780文字以内で記入してください。 ・ 機器の導入を要望する場合には、「導入後の運用計画」も具体的に記入してください。
28	事業の新規性 または 継続の必要性 ※	・ No.8 種別で(1)、(2)を選択した場合は「事業の新規性」について、(5)を選択した場合は「継続の必要性」について具体的に分かり易く(箇条書き等)、255文字以内で記入してください。 ・ [新規性]本事業のこれまでに無い新たな取組み(発想、手法、新分野へのチャレンジ、チェンジ)について記入してください。 ・ [継続の必要性]なぜ本事業を継続して行う必要があるかについて記入してください。
29	事業の発展性 ※	・ 本事業が完了した後に予想される効果等について、255文字以内で記入してください。
30	実施場所 (設置場所) ※	・ 255文字以内
31	実施体制 ※	・ 事業の実施体制について、以下の項目を255文字以内で記入してください。 ○事業を実施するメンバー構成、責任者と役割分担 なお、以下の事項に該当する場合は内容を記入してください。 ○外部人材の活用や協力団体との連携がある場合 ○専門性のある人材又は体制が組み込まれている場合

(3) 達成目標: 事業の実施結果

(注) 記入にあたっては、P38・39「VI. 補助事業の評価について 4. 事前計画の作成にあたって」並びにP40～44「事業形態別記入例」を事前にご参照ください。

32	指標 ※	・ 事業の実施結果の指標を80文字以内で記入してください。
33	目標値 ※	・ No.32で設定した指標の達成目標値を80文字以内で記入してください。
34	具体的内容 ※	・ No.32の指標、No.33の目標値の設定理由を具体的に、255文字以内で記入してください。

(3) 達成目標: 事業の成果・波及

(注) 記入にあたっては、P38・39「VI. 補助事業の評価について 4. 事前計画の作成にあたって」並びにP40～44「事業形態別記入例」を事前にご参照ください。

35	指標 ※	・ 事業の成果・波及の指標を80文字以内で記入してください。
36	目標値 ※	・ No.35で設定した指標の達成目標値を80文字以内で記入してください。
37	具体的内容 ※	・ No.35の指標、No.36の目標値の設定理由を具体的に、255文字以内で記入してください。

(4) 情報発信: 事業の結果

38	指標 ※	・ 下記1、2の視点で、事業の結果を情報発信する計画を設定してください。 (事業完了後2ヶ月以内に確認できるもの) 1. 受益者・関係者への周知(例:ポスター、機関紙など) 2. 広く世間一般への周知(例:HP掲載、新聞掲載など) 80文字以内で記入してください。
39	目標値 ※	・ No.38で設定した指標の達成目標値を80文字以内で記入してください。
40	具体的内容 ※	・ 事業内容及び事業の実施結果を、受益者・関係者、また世間一般に効果的に伝えることができる広報計画を具体的に、255文字以内で記入してください。 ・ No.38で設定した指標ごとに、使用する予定の媒体とその媒体を選んだ理由を具体的に記入してください。

(4) 情報発信: 競輪・オートレース補助金による事業であること

41	指標 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・下記 1、2 の視点で、競輪・オートレース補助金による事業であることを情報発信する計画を設定してください。 (事業完了後 2ヶ月以内に確認できるもの) 1. 受益者・関係者への周知(例:ポスター、機関紙など) 2. 広く世間一般への周知(例:HP 掲載、新聞掲載など) <p>80 文字以内で記入してください。</p>
42	目標値 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・No.41 で設定した指標の達成目標値を 80 文字以内で記入してください。
43	具体的内容 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・競輪、オートレースの補助金で実施された事業であることを、受益者・関係者、また世間一般に効果的に伝えることができる広報計画を具体的に、255 文字以内で記入してください。 ・No.41 で設定した指標ごとに、使用する予定の媒体とその媒体を選んだ理由を具体的に記入してください。

(5) 自己評価の体制

44	自己評価の体制 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・より信頼できる評価となるよう、自己評価は特定の担当者や組織だけではなく、利用者や参加者などの幅広い関係者、外部の第三者なども加わって行われることが望まれます。以上の点をふまえ、事業の自己評価体制について、以下の項目を 255 文字以内で記入してください。 ・評価を実施する体制(メンバー構成など)、責任者 ・評価の具体的な方法、手順 ・自己評価結果の公表方法
----	-----------	---

申請事業者: 事務担当者

45	基本情報と同一 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・事務担当者が基本情報と異なる場合のみ記入が必要となります。
45-1	所属部署	
45-2	役職	
45-3	氏名 姓 ※	
45-3	氏名 名 ※	
45-4	氏名カナ 姓 ※	
45-4	氏名カナ 名 ※	
45-5	e-mail(半角)	
45-6	電話 1(半角)	
	電話 1 区分	
45-7	電話 2(半角)	
	電話 2 区分	
45-8	FAX(半角)	

申請事業者: 作成者情報

46	作成日	<ul style="list-style-type: none"> ・西暦・半角数字で入力してください。(例 2016-9-16)
47	作成者	<ul style="list-style-type: none"> ・8 文字以内 ・姓と名の間に空白を入れないでください。(例申請太郎)

申請事業者: 事業者情報

48	事業の実施責任者の主な経歴・業績	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業項目の実施責任者の主な経歴・業績を、255 文字以内で記入してください。
49	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・255 文字以内

※以上下書きシートが出来上がったら事業者フロントにログインし、下記いずれかの手順により基本情報の入力を行なって下さい。

- ・下書きシートのアップロードを行う
- ・直接、下書きシートの内容を基本情報入力画面の該当項目に、それぞれ転記する(コピー&貼付け、又はプルダウンの項目については同じ内容を選択してください)

※「Alt」キーを押しながら「Enter」キーを押すと、下書き欄の中で改行することができます(改行すると印字可能な文字数が実質減少するのでプレビューでご確認ください)

事業形態コード表 下書きシート（事前計画）No. 3～4 記入用

分類コード	分類項目名	詳細コード	詳細項目名
B	機器・検診車	08	公設工業試験研究所(研究用途)
		09	公設工業試験研究所(技術サービス)
		99	その他
E	調査・分析・研究開発	01	分析・調査研究
		02	資料収集
		03	技術開発、研究開発
		99	その他
F	イベント開催	01	講座、セミナー
		02	シンポジウム
		03	体験活動、交流
		04	キャンペーン
		05	展示会、上映会、演奏会
		06	表彰、コンクール
		09	競技会(機械)
G	事業・サービス	01	資格付与
		02	相談事業、助言
		03	広報
		99	その他

※機械振興事業で補助要望される場合は、上記のコードから選択してください。

公設工業試験研究所等において要望される事業のうち、「人材育成等」事業及び「共同研究」事業については、上記分類コードE、F、Gの中から事業の形態に該当する項目のコードを選択してください。

(選択肢には、上記以外に公益事業振興補助事業で使用するコードも表示されますので、ご注意ください。)

公益目的事業について

「公益認定等に関する運用について(公益認定等ガイドライン)平成20年4月(平成25年1月改定)内閣府公益認定等委員会」を参考に下記事項について記入してください。

・種類【公益法人認定法・第2条・別表抜粋】

1. 学術及び科学技術の振興を目的とする事業
2. 文化及び芸術の振興を目的とする事業
3. 障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業
4. 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
5. 勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業
6. 公衆衛生の向上を目的とする事業
7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
8. 勤労者の福祉の向上を目的とする事業
9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
10. 犯罪の防止又は治安の維持を目的とする事業
11. 事故又は災害の防止を目的とする事業
12. 人種、性別その他の事由による不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とする事業
13. 思想及び良心の自由、信教の自由又は表現の自由の尊重又は擁護を目的とする事業
14. 男女共同参画社会の形成その他のより良い社会の形成の推進を目的とする事業
15. 国際相互理解の促進及び開発途上にある海外の地域に対する経済協力を目的とする事業
16. 地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
17. 国土の利用、整備又は保全を目的とする事業
18. 国政の健全な運営の確保に資することを目的とする事業
19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業
20. 公正かつ自由な経済活動の機会の確保及び促進並びにその活性化による国民生活の安定向上を目的とする事業
21. 国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給の確保を目的とする事業
22. 一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とする事業

※上記1から22に該当しない又は判断ができない場合は、「23」と記入してください。その場合も、以下の事業区分について記入をお願いします。

・事業区分

公益認定等ガイドラインP57「事業区分ごとの事業名の例」を参照し、当該事業が最も適していると思われる事業区分を下記(1)～(18)より選択し、その番号を記入してください。〈各事業区分の詳細(概念、チェックポイントの内容)は、P40～52の該当箇所をご確認ください。〉

(1) 検査検定	(10) 博物館等の展示
(2) 資格付与	(11) 施設の貸与
(3) 講座、セミナー、育成	(12) 資金貸付、債務保証等
(4) 体験活動等	(13) 助成(応募型)
(5) 相談、助言	(14) 表彰、コンクール
(6) 調査、資料収集	(15) 競技会
(7) 技術開発、研究開発	(16) 自主公演
(8) キャンペーン、〇〇月間	(17) 主催公演
(9) 展示会、〇〇ショー	(18) (1)～(17)に該当しない事業

※上記(1)から(17)の区分に該当しない事業については、(18)と記入してください

・「チェックポイント」の確認

上記事業区分ごとに掲げられた「チェックポイント」に沿っているかを公益認定等ガイドライン(P40～P52)で確認してください。

- ・全て沿っている場合は、プルダウンから「沿っている」を選択してください。
 - ・沿っていない項目がある場合は、プルダウンから「沿っていない」を選択し、下段の()内に、沿っていない該当番号(①,②,…)を算用数字(Oなし1,2,…)で記入してください。
- なお、当該事業が複数の「事業区分」に該当する場合※には、複数の事業区分を記入し、「チェックポイント」に沿っていない項目がある場合は、下記を例に記入してください。

例) (1)-2, (3)-1 <事業区分(1)の②及び(3)の①に沿っていない場合の例です>

※公益認定等ガイドライン・P53「【補足】横断的注記」参照

3. インターネットによる申請で、ダウンロードできる申請書類

(1) 交付要望書

	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">申請番号</td> <td style="padding: 2px;">99ZZ9999-999</td> </tr> </table>	申請番号	99ZZ9999-999																																		
申請番号	99ZZ9999-999																																				
<p>※1</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">自転車等機械振興事業に関する補助金交付要望書</p>	<p>号</p> <p>平成 年 月 日</p>																																				
<p>公益財団法人 JKA 会長 笹部 俊雄 殿</p>																																					
<p>(郵便番号)</p> <p>(住所)</p>																																					
<p>(名称)</p> <p>(代表者役職名)</p> <p>(フリガナ)</p> <p>(代表者氏名)</p>																																					
<p>※1</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">「自転車等機械振興事業に関する補助事業の選定の基準及び補助の方法に関する規程」第5条の規定に基づき、補助金の交付を要望します。</p>	<p>※2</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">印</p>																																				
<p>記</p>																																					
<p>1. 事業名</p> <p>2. 補助金対象経費総額</p> <p>3. 補助金交付要望額</p> <p>4. 補助金を必要とする理由 別紙・事前計画／自己評価書のとおり</p> <p>5. 補助事業の概要 別添1のとおり</p> <p>6. 事前計画／自己評価 別紙・事前計画／自己評価書のとおり</p> <p>7. 事業者の概要 別添2のとおり</p> <p>8. 当該事業に関し、他の団体に関する補助申請又は補助申請予定の有無 別紙・事前計画・自己評価書のとおり</p> <p>9. 連絡先</p>																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">法人 (上記の住所と異なる場合のみ記入)</td> <td style="text-align: center;">名称</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">住所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">〒</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法人URL</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">事務担当者</td> <td>所属部署・役職</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>フリガナ</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>e-mail</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>電話 1</td> <td style="text-align: center;">勤務先</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">FAX</td> </tr> </table>	法人 (上記の住所と異なる場合のみ記入)	名称			住所	〒		法人URL				事務担当者	所属部署・役職			フリガナ			氏名			e-mail			電話 1	勤務先		電話 2			FAX						
法人 (上記の住所と異なる場合のみ記入)		名称																																			
	住所	〒																																			
法人URL																																					
事務担当者	所属部署・役職																																				
	フリガナ																																				
	氏名																																				
	e-mail																																				
	電話 1	勤務先																																			
	電話 2																																				
FAX																																					

※1 オートレース補助金の要望を選択された場合には、「小型自動車等」と表示されます。

※2 法人印は登記されたもので押印してください。研究補助に要望する者は、申請者名で押印してください。

(2)事前計画/自己評価書(1/5)~(3/5②)

(1/5)は、1申請につき1枚

別紙 J KA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書 (1/5) 99Z2999-999

<交付要望>

1. 要項事業者

法人格	設立 法人格取得	所属部署 (役職名)	氏名
名称		電話	代表 担当者
		FAX	代表 担当者
住所		E-mail	代表 担当者
代表者 氏名 (役職名)		ホームページ	
団体の概 念・目的	過去のJA補助実績		
これまでの 主な活 動内容	有 いつから		
	過去5年間のJA補助実績		
事業の実施 責任者の正 な経歴・業 績(研究補助 は別記入)	特記事項		
JA使用欄			

別紙 J KA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書 (2/5) 99Z2999-999 [1]

<交付要望>

2. 要項事業

補助事業名	事業形態
事業項目名	公益目的事業情報
	種類 事業 区分
種別	団体名称
(1)新規要望	運営費種別
補助年度	経過年数
年度要望	総計画年数
継続 要望	計画開始年度
計画年度	中断
事業費総額	事業コード
補助金 交付要望額	補助対象 経費総額
委託事業 の有無	委託調査 の有無
委託想定先	1 2 3
アピールポイント	

3. 補助事業実施の必要性(説明)

①補助事業実施の必要性(説明)
この補助事業実施の必要性は、社会的に解決等を目的とする社会的課題及び受益者(ニーズ)との関係で整理してください。
 補助事業の結果(アウトプット)、成果(アウトカム)により、(2)の補助事業の直接的な目的を達成し、長期的には、社会的課題が改善・解消・予防等された社会等での「目指す姿」の実現(1)の補助事業が最終的に目指すこと」を説明します。

(1)補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状として、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善・解消・予防等された社会等の状態)を記入してください。

社会的課題の現状	補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)
目指す姿	

(2)補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アウトプット)、成果(アウトカム)の直接的な効果により、達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的

(2/5)、(3/5①)、(3/5②)は、事業項目毎に3枚1セット

別紙 J KA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書 (3/5 ①) 99Z2999-999

<交付要望>

1. 要項事業者

補助事業

(1)受益者 (ニーズ)	事業終了後に自己評価書(4/5①/5②)を実施していただきます。 補助事業の結果・成果により、補助事業の目的達成を図ります。
(2)事業内容	
事業の新規性	
事業の発展性	
事業の完了時期	【平成 年 月 日】
実施計画	【スケジュール】別添1:補助事業の概要のとおり 【予算】事業経費比較表のとおり
実施場所	
実施体制	

別紙 J KA補助事業 平成30年度 事前計画/自己評価書 (3/5 ②) 99Z2999-999 [1]

<交付要望>

1. 要項事業者

補助事業

事業の実施結果	[指標]	[目標値]	[具体的内容]
事業の達成・波及	[指標]	[目標値]	[具体的内容]
事業の達成結果	[指標]	[目標値]	[具体的内容]
情報発信	[指標]	[目標値]	[具体的内容]
研修・アンケート等補助金による事業であること	[指標]	[目標値]	[具体的内容]
(5)自己評価の体制			

事業終了後に自己評価書(4/5①/5②)を実施していただきます。

(3) 事業者の概要(1・2)

(別添2)

申請番号	99ZZ9999-999
------	--------------

事業者の概要

※法人情報

法人格

フリガナ

法人名

代表役職名

フリガナ

代表者氏名

住所

a. 事業を簡潔に示す名称	
b. 事業をわかりやすく説明した概要	

c. 補助事業の目的	
d. 補助事業の内容	
e. 事業完了予定日	

1. 役員及び会員の状況 (<和暦年月日>現在)

役員数	役員名(常勤名, 非常勤名)、職員名、その他名			
会員数	正社員名	賛助会員名	法人会員名	個人会員名
	役職名	氏名	常勤/非常勤	
代表者				
	役職名	氏名	役職名	氏名
常勤役員				

2. 業務概要 (255文字)

組織の 情報公開 の有無	組織概要	決算書	事業概要	事業報告
	役員報酬規定	役員退職金に関する規定	収入に占めるJKA補助金の割合 %	

事業者の概要(1・2)は2枚1セット

Ⅲ. 「関連書類」の作成について

※この章では「競輪&オートレースの補助事業」ホームページ<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>からダウンロードできる関連書類のフォームに入力する内容について説明します。

1. 事業者の概要(3)

(別添2) 事業者の概要

補助事業者名 _____

3. 過年度における収支決算の概要及び本要望書提出時に属する年度の収支予算の概要

貸借対照表

(単位：円)

※1	平成××年度決算	平成××年度決算	平成××年度決算	平成××年度決算
1. 資産の部				/
ア. 流動資産				
イ. 固定資産				
2. 負債の部				
ア. 流動負債				
イ. 固定負債				
3. 正味財産				

収支決算書

(単位：円)

	平成××年度決算	平成××年度決算	平成××年度決算	平成××年度予算
1. 収入合計 [a]				
(1) 事業収入				
ア.				
イ.				
ウ. その他				
(2) 補助金収入				
ア. JKA補助金 [b]				
(b/a・%)				
イ. その他の補助				
(3) その他の収入				
ア.				
イ.				
ウ. その他				
2. 支出合計				
(1) 事業支出				
ア.				
イ.				
ウ. その他				
(2) その他の支出				
ア.				
イ.				
ウ. その他				
3. 次期繰越収支差額				
ア. 当期収支差額				
イ. 前期繰越収支差				

<特記事項>

※2

・公設試(地独以外)、研究補助は作成不要です。

※1 過去3年度の決算書及び今年度の予算書から、該当する金額を転記してください。

○一般会計と特別会計がある場合、原則として各会計を合算した数字を記入してください。

※2収支差額等に特記事項がある場合には、その内容を記入してください。

特記事項の無い場合は「無し」としてください。

2. 補助事業の概要(事業の実施予定表)

<振興事業補助>

(別添1)

補助事業の概要

事業の実施予定表

事業項目(段階)	上半期					下半期						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. OOに関する調査研究												
地域情報配信の実態調査・解析		←		→								
開発計画・準備			←	→								
実験用プロトタイプ・プログラム作成			←		→							
検証実験・解析						←		→				
報告書の作成									←	→		
2. OOを利用したOOの実施調査研究												
業者決定(企画競争)		←		→								
調査の実施(ヒアリング含)				←		→						
報告書の作成								←	→			
調査結果のアフターケア									←	→		
3. OOにおけるIT利用環境の実態調査研究												
業者決定(企画競争)		←		→								
調査の実施(ヒアリング含)				←		→						
報告書の作成								←	→			
調査結果のアフターケア									←	→		
4. OOOOシンポジウムの開催												
開催内容の検討					←		→					
広報								←		→		
シンポジウムの開催									←		→	
報告書の作成										←		→
5. OOO異業種交流セミナーの実施												
開催準備委員会	←			→								
セミナーの開催			←		→							
報告書の作成									←		→	

・事業の実施計画について、段階ごとに月別のスケジュール表を作成してください。

※事業項目について

一つの補助事業が複数のテーマに分かれる場合をいいます。その場合、事業項目1. 2. 3. …としてください。

同一テーマで実施方法が異なる場合(例:シンポジウムの開催、講演会の開催、印刷物作成等)は、事業項目を分けなくてください。

<公設工業試験研究所等(機械設備拡充)>

(別添1) 補助事業の概要

事業の実施予定表

要望機器(段階)	期・月別			上 半 期					下 半 期				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. ○○分析装置													
機種選定	←	→											
入札・業者決定・契約				←	→								
納品・検収							←	→					
2. ○○試験装置									←	→			
機種選定	←	→											
入札・業者決定・契約				←	→								
納品・検収							←	→					

・事業の実施計画について、機器及び項目ごと、段階ごとに月別のスケジュール表を作成してください。
 ※希望する機器の順番に事業項目1. 2. 3. …としてください。

<公設工業試験研究所等(人材育成等)>

(別添1) 補助事業の概要

事業の実施予定表

事業項目(段階)	期・月別			上 半 期					下 半 期				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. ○○処理技術の普及													
地元地域の実態調査	←	→											
報告書作成					←	→							
講習会の実施										←	→		
2. ○○の開発													
実験、データ解析	←	→											
報告書作成									←	→			
セミナーの開催												←	→

・事業の実施計画について、項目ごと段階ごとに月別のスケジュール表を作成してください。
 ※1申請者につき、1事業の要望に限ります。

<公設工業試験研究所等(共同研究)>

(別添1) 補助事業の概要

事業の実施予定表

研究段階	期・月別			上半期					下半期				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
〇〇を活用した〇〇技術の開発													
〇〇の現状調査	←	→											
〇〇機器の製作				←	→								
〇〇の実験							←	→					
報告書の作成											←	→	
成果発表会の実施												←	→

・事業の実実施計画について、段階ごとに月別のスケジュール表を作成してください。

※1申請者につき、1事業1項目(1研究テーマ)の要望に限ります。

<研究補助>

(別添1) 補助事業の概要

事業の実施予定表

研究段階	期・月別			上半期					下半期				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
〇△□〇△□〇に関する研究(1年目)													
〇△□〇△□〇△□〇△□〇△	←	→											
□〇△□〇△□〇△					←	→							
□〇△◇□〇□〇△◇□〇													
〇△□〇△□〇に関する研究(2年目)													
△◇□〇△◇□〇△◇□〇△◇□〇	←	→											
〇△□〇△□〇△〇△□〇△□〇△									←	→			
△□〇△□〇△□〇△□〇												←	→

・事業の実実施計画について、段階ごとに月別のスケジュール表を作成してください。複数年の研究の場合は、1年目、2年目と分けて作成してください。

3. 補助事業の概要(事業経費比較表)

<記入例> (振興事業補助)

[30年度補助要望用]

事業コード	B1001	(注1) 機械振興事業補助
補助率	1/2	

事業経費比較表

②法人名	(一財)〇〇〇〇協会
補助事業名	平成30年度△△△△に関する開発研究等補助事業

1. 収入の部 [単位:円]

項目	⑦予算額
補助金	3,361,000
自己負担金	3,361,000
補助対象経費総額	6,722,000
事業費総額	6,721,200

自己負担分
3,361,000

(注6)

⑧自己負担金の調達方法 [単位:円]	
会費収入	3,000,000
入場料収入	2,009,500

2. 支出の部 [単位:円]

③前年度交付決定額						④要望額													
(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額 (G)				(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額 (G)					
					内容 (単価)	数量 (単位)	数量 (単位)	数量 (単位)						= 合計	内容 (単価)	数量 (単位)	数量 (単位)	数量 (単位)	= 合計
1. <〇〇開発のための研究> (旅費) 旅費	1/2	141,000	141,000	282,000	委員会出席旅費(東京~大阪) 29,000 × 2人 × 3回 = 174,000				1. <〇〇開発のための研究> (旅費) 旅費	1/2	199,000	199,000	398,000	委員会出席旅費(東京~大阪) 29,000 × 2人 × 3回 = 174,000					
					調査研究旅費(東京~京都) 27,000 × 2人 × 2回 = 108,000									調査旅費(東京~福岡) 52,000 × 2人 × 2回 = 208,000					
														宿泊費 7,800 × 2人 × 1泊 = 15,600					
(物件費) 機械設備費	1/2	225,000	225,000	450,000	〇〇〇〇機器 75,000 × 6台 = 450,000				(物件費) 機械設備費	1/2	125,000	125,000	250,000	〇〇〇〇読取端末 50,000 × 5台 = 250,000					
(事業費) 委員手当	1/2	225,000	225,000	450,000	〇〇〇〇委員会 9,000 × 10人 × 5回 = 450,000				(事業費) 委員手当	1/2	90,000	90,000	180,000	〇〇〇〇委員会 9,000 × 10人 × 2回 = 180,000					
研究員手当	1/2	900,000	900,000	1,800,000	研究員 9,000 × 2人 × 100日 = 1,800,000				研究員手当	1/2	900,000	900,000	1,800,000	研究員 9,000 × 2人 × 100日 = 1,800,000					
印刷費	1/2	243,000	243,000	486,000	報告書作成 2,700 × 180部 = 486,000				運送料	1/2	11,000	11,000	22,000	報告書発送費 180 × 120箇所 = 21,600					
									印刷費	1/2	270,000	270,000	540,000	報告書作成 2,700 × 200部 = 540,000					
1. 小計(H)		1,734,000	1,734,000	3,468,000					1. 小計(H)		1,595,000	1,595,000	3,190,000						
									2. <△△△△に関する調査研究> (旅費) 旅費	1/2	96,000	96,000	192,000	調査旅費(東京~熊本) 60,000 × 3人 × 1回 = 180,000					
														日当 4,000 × 3人 × 1日 = 12,000					
									(事業費) 謝金	1/2	90,000	90,000	180,000	専門業務謝金 9,000 × 2人 × 10日 = 180,000					
									臨時備役費	1/2	1,080,000	1,080,000	2,160,000	研究員 6,000 × 2人 × 180日 = 2,160,000					
									委託調査費	1/2	500,000	500,000	1,000,000	△△△△の委託調査 1,000,000 × 1式 = 1,000,000					
2. 小計(H)		0	0	0					2. 小計(H)		1,766,000	1,766,000	3,532,000						
総合計(I)		1,734,000	1,734,000	3,468,000					総合計(I)		3,361,000	3,361,000	6,722,000						

(注5)

- ・ダウンロードしたファイルから該当するシートを選択してください。
- ・各シートの右側に作業手順が記載してありますので必ず順番に作業してください。

(注1) 該当する事業コードをプルダウンより選択してください。

(注2) 前年度交付決定額

- ①前年度に実施していない事業を要望する場合は、前年度交付決定額の欄を空欄としてください。
- ②前年度実施した事業で今回も引続き要望する場合は、同年4月1日付の交付決定金額を当該事業経費明細から転記してください

(注3) 費目・節・補助率(A～C列)

- ①費目(A)は旅費、物件費、事業費のいずれかをプルダウンで選択してください。
- ②節目(B)と補助率(C)をプルダウンで選択してください。

(注4) 算出基礎／事業費総額(G列)

- ①節ごとに2段書きとし、上段に支出内容、下段には単価×回数、単価×人数×回数、単価×数量等の算出根拠を入力してください。必ず単位(○回、○人、○日)を記入してください。
- ②算出した節ごとの合計金額の千円未満を四捨五入し、補助対象経費(F列)欄に記入してください。
- ③補助対象経費(F列)を入力すると補助金(D)及び自己負担金(E)は自動で計算されます。

(注5) 小計、総合計(H、I行)

- ①複数項目の場合は事業項目ごとに小計(H行)を立て、最後に総合計欄(I行)を作成してください。
- ②1事業項目の場合は総合計(I行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。
- ③複数項目の場合は項目ごとの小計(H行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。

(注6) 自己負担金の調達方法

自己負担金の原資名、金額を具体的に記載してください。(例:事業収入、会費収入、寄付金、入場料収入等)

<記入例> (公設試・機械設備拡充)

[30年度補助要望用] (注1)

事業コード	A4004	機械_公設試_機械設備拡充
補助率	2/3	

事業経費比較表

②法人名	〇〇県
補助事業名	平成30年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業

1. 収入の部 [単位:円]

項目	⑦予算額
補助金	25,363,000
自己負担金	12,682,000
補助対象経費総額	38,045,000
事業費総額	38,044,780

自己負担分
12,682,000

(注6)

⑧自己負担金の調達方法	[単位:円]
事業収入	12,682,000

2. 支出の部

(注2)

(注3)

[単位:円]

③前年度交付決定額						要 望 額					
(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額 (G) (内容) 数量 × (単価) × 数量 × (単価) × 数量 × (単価) = 合計	(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	⑤算出基礎 / 事業費総額 (G) (内容) 数量 × (単価) × 数量 × (単価) × 数量 × (単価) = 合計
1. 真円度測定器						1. 三次元測定器					
(物件費)						(物件費)					
機械設備費	2/3	6,450,000	3,226,000	9,676,000	9,676,280 × 1機器 = 9,676,280	機械設備費	2/3	19,618,000	9,809,000	29,427,000	29,426,920 × 1機器 = 29,426,920
						2. ロックウェル高度計					
							2/3	1,368,000	684,000	2,052,000	2,052,000 × 1式 = 2,052,000
						3. 光ファイバー温度計					
							2/3	4,377,000	2,189,000	6,566,000	6,565,860 × 1式 = 6,565,860
総合計 (I)		6,450,000	3,226,000	9,676,000	9,676,280	総合計 (I)		25,363,000	12,682,000	38,045,000	38,044,780

1/1

補助金交付要望額 補助対象経費総額

- ・ダウンロードしたファイルから該当するシートを選択してください。
- ・各シートの右側に作業手順が記載してありますので必ず順番に作業してください。

(注1) 該当する事業コードをプルダウンより選択してください。

(注2) 前年度交付決定額

- ①前年度に採択されていない場合は、前年度交付決定額の欄を空欄としてください。
- ②前年度に採択されている場合は、同年4月1日付の交付決定金額を当該事業経費明細から転記してください。

(注3) 費目・節・補助率(A～C列)

- ①費目(A) 物件費をプルダウンで選択してください。
- ②節(B)は機械設備費をプルダウンで選択してください。
- ③補助率(C)をプルダウンで選択してください。

(注4) 算出基礎／事業費総額(G列)

- ①機器ごとに2段書きとし、上段に機械設備名、下段には見積書の額×1機器(1台)と入力してください。
- ②上記①を入力すると補助金(D)、自己負担金(E)、補助対象経費(F)及び事業費総額(G列)の合計金額が自動で計算されます。

(注5) 機器ごとの金額、総合計(I行)

- ①1機器の場合は総合計(I行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。
- ②複数機器を要望する場合は機器ごとの金額と補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。

(注6) 自己負担金の調達方法

自己負担金の原資名、金額を具体的に記載してください。

- ・要望機器に対して、各々の見積り、カタログ、機器内容についての説明書を添付してください。

(P2、P36 参照)

<記入例> (公設試・人材育成等)

[30年度補助要望用]

事業コード	A4003	機械_公設試_人材育成等
補助率	2/3	

事業経費比較表

①法人名	〇〇県
補助事業名	平成30年度公設工業試験研究所等における人材育成等補助事業

1. 収入の部 [単位:円]

項目	⑥予算額
補助金	2,392,000
自己負担金	1,202,000
補助対象経費総額	3,594,000
事業費総額	3,593,600

自己負担分
1,202,000

(注5)

⑦自己負担金の調達方法	[単位:円]
一般財源	1,202,000

2. 支出の部 [単位:円]

②前年度交付決定額					③要望額						
(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額 (G) 内容 (単価) × 数量 (単位) × 数量 (単位) × 数量 (単位) = 合計	(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額 (G) 内容 (単価) × 数量 (単位) × 数量 (単位) × 数量 (単位) = 合計
<事業を簡潔に示す名称、又は、事業項目名を記入してください>					<〇〇セミナーの開催>						
						(旅費) 旅費	2/3	84,000	43,000	127,000	セミナーにかかる講師旅費(東京~〇〇) 35,000 × 1人 × 2回 = 70,000
						(事業費) 謝金	2/3	133,000	67,000	200,000	セミナーにかかる講師旅費(大阪~〇〇) 28,400 × 1人 × 2回 = 56,800
						会場費	2/3	533,000	267,000	800,000	講師謝金 50,000 × 2人 × 2回 = 200,000
						印刷費	2/3	106,000	54,000	160,000	セミナー会場借り上げ 300,000 × 2回 = 600,000
											会場設営費 100,000 × 2回 = 200,000
											テキスト作成 800 × 200冊 = 160,000
1. 小計(H)		0	0	0	0	1. 小計(H)		856,000	431,000	1,287,000	1,286,800
<事業を簡潔に示す名称、又は、事業項目名を記入してください>					<〇〇調査研究>						
						(旅費) 旅費	2/3	80,000	40,000	120,000	調査研究旅費(〇〇~福岡) 60,000 × 2人 × 1回 = 120,000
						(事業費) 実験材料費	2/3	600,000	300,000	900,000	〇〇材料費 30,000 × 30個 = 900,000
2. 小計(H)		0	0	0	0	2. 小計(H)		1,536,000	771,000	2,307,000	2,306,800
総合計(D)		0	0	0	0	総合計(D)		2,392,000	1,202,000	3,594,000	3,593,600

- ・ダウンロードしたファイルから該当するシートを選択してください。
- ・各シートの右側に作業手順が記載してありますので必ず順番に作業してください。

(注1)前年度交付決定額

- ①前年度に実施していない事業を要望する場合は、前年度交付決定額の欄を空欄としてください。
- ②前年度に実施している事業で今回も引き続き要望する場合は、同年4月1日付の交付決定金額を当該事業経費明細から転記してください。

(注2)費目・節・補助率(A～C列)

- ①費目(A)は旅費、事業費のいずれかをプルダウンで選択してください。
- ②節目(B)と補助率(C)をプルダウンで選択してください。

(注3)算出基礎／事業費総額(G列)

- ①節ごとに2段書きとし、上段に支出内容、下段には単価×回数、単価×人数×回数、単価×数量等の算出根拠を入力してください。必ず単位(〇回、〇人、〇日)を記入してください。
- ②算出した節ごとの合計金額の千円未満を四捨五入し、補助対象経費(F列)欄に記入してください。
- ③補助対象経費(F列)を入力すると補助金(D)及び自己負担金(E)は自動で計算されます。

(注4)小計、総合計(H、I行)

- ①複数項目の場合は項目ごとに小計(H行)を立て、最後に総合計欄(I行)を作成してください。
- ②1事業項目の場合は総合計(I行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。
- ③複数項目の場合は項目ごとの小計(H行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。

(注5)自己負担金の調達方法

自己負担金の原資名、金額を具体的に記載してください。

- ・1申請者につき、1事業の要望に限ります。

<記入例> (公設試・共同研究)

[30年度補助要望用]

事業コード	A4003	機械_公設試_共同研究
補助率	2/3	

事業経費比較表

①法人名	〇〇県
補助事業名	平成30年度公設工業試験研究所等における共同研究補助事業

1. 収入の部 [単位:円]

項目	⑥予算額
補助金	768,000
自己負担金	385,000
補助対象経費総額	1,153,000
事業費総額	1,153,120

(注5)

⑦自己負担金の調達方法 [単位:円]	
自己負担分	385,000
県一般予算	385,000

2. 支出の部 [単位:円]

(注1)

②前年度交付決定額					要 望 額									
(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額(G) 内容(単価) × 数量(単位) × 数量(単位) × 数量(単位) = 合計									
<事業を簡潔に示す名称、又は、事業項目名を記入してください>					<〇〇を活用した△△技術の試作開発>									
					(物件費)					〇〇測定装置				
					機械設備費	2/3	400,000	200,000	600,000	600,000 × 1機器	=	600,000		
					実験材料費	2/3	368,000	185,000	553,000	〇〇試作用試料	8,000 × 50個	=	400,000	
										〇〇素材	25,520 × 6個	=	153,120	
総合計(I)		0	0	0	0	総合計(I)	768,000	385,000	1,153,000				1,153,120	

(注4)

(注3)

- ・ダウンロードしたファイルから該当するシートを選択してください。
- ・各シートの右側に作業手順が記載してありますので必ず順番に作業してください。

(注1)前年度交付決定額

- ①前年度に実施していない事業を要望する場合は、前年度交付決定額の欄を空欄としてください。
- ②前年度実施した事業で今回も引続き要望する場合は、同年4月1日付の交付決定金額を当該事業経費明細から転記してください。

(注2)費目・節・補助率(A～C列)

- ①費目(A)は物件費をプルダウンで選択してください。
- ②節目(B)と補助率(C)をプルダウンで選択してください。

(注3)算出基礎／事業費総額(G列)

- ①節ごとに2段書きとし、上段に支出内容、下段には単価×回数、単価×数量等の算出根拠を入力してください。必ず単位(〇回、〇個)を記入してください。
- ②算出した節ごとの合計金額の千円未満を四捨五入し、補助対象経費(F列)欄に記入してください。
- ③補助対象経費(F列)を入力すると補助金(D)及び自己負担金(E)は自動で計算されます。

(注4)総合計(I行)

総合計(I行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。

(注5)自己負担金の調達方法

自己負担金の原資名、金額を具体的に記載してください。

- ・1申請者につき、1事業1事業項目(1研究テーマ)の要望に限ります。

<記入例> (研究補助)

[30年度補助要望用] (注1)

事業コード	C1007	機械_研究補助_複数年研究
補助率	1/1	

事業経費比較表

②研究者名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 教授 山田太郎
補助事業名	平成30年度△△△△を用いた△△△△開発補助事業

1. 収入の部 [単位:円]

項目	⑦予算額
補助金	7,913,000
自己負担金	0
補助対象経費総額	7,913,000
事業費総額	7,911,700

自己負担分 0

⑧自己負担金の調達方法 [単位:円]

	0
--	---

2. 支出の部 [単位:円]

③前年度内定額					④本年度要望額				
(費目・A) 節・B	補助率 (C)	補助金 (D)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	(費目・A) 節・B	補助率 (C)	自己負担金 (E)	補助対象経費 (F)	算出基礎 / 事業費総額 (G)
算出基礎 / 事業費総額 (G)					算出基礎 / 事業費総額 (G)				
内容 (単価) × 数量 (単位) × 数量 (単位) × 数量 (単位) = 合計					内容 (単価) × 数量 (単位) × 数量 (単位) × 数量 (単位) = 合計				
<このセルに事業を簡潔に示す名称、又は、事業項目名を記入してください>									
					<〇〇に関する研究(1年目)>				
(旅費) 旅費	1/1	150,000	0	150,000	(旅費) 旅費	1/1	0	150,000	学会参加旅費(東京~大阪) 28,600 × 2人 × 1回 = 57,200
									学会参加 日当 4,000 × 2人 × 2日 = 16,000
									学会参加 宿泊費 8,000 × 2人 × 1泊 = 16,000
									学会参加費 30,000 × 2人 × 1回 = 60,000
(物件費) 機械設備費	1/1	869,000	0	869,000	(物件費) 機械設備費	1/1	0	869,000	〇〇〇機器 286,000 × 1機器 = 286,000
									△△△機器 582,500 × 1機器 = 582,500
実験材料費	1/1	120,000	0	120,000	実験材料費	1/1	0	120,000	〇〇材料 40,000 × 3個 = 120,000
(事業費) 謝金	1/1	900,000	0	900,000	(事業費) 謝金	1/1	0	900,000	研究協力者 9,000 × 100日 = 900,000
その他(諸経費)	1/1	1,250,000	0	1,250,000	その他(諸経費)	1/1	0	1,250,000	〇〇試験器借上料 50,000 × 25日 = 1,250,000
1. 小計(H)		0	0	0	1. 小計(H)		0	3,289,000	3,287,700
2. <事業項目名を記入してください>					<〇〇に関する研究(2年目)>				
(旅費) 旅費	1/1	174,000	0	174,000	(旅費) 旅費	1/1	0	174,000	研究打ち合わせ(東京~大阪) 29,000 × 2人 × 3回 = 174,000
2. 小計(H)		0	0	0	2. 小計(H)		0	4,624,000	4,624,000
総合計(I)		0	0	0	総合計(I)		0	7,913,000	7,911,700

(注6) 1/1 補助金交付要望額 補助対象経費総額

- ・ダウンロードしたファイルから該当するシートを選択してください。
- ・各シートの右側に作業手順が記載してありますので必ず順番に作業してください。

(注1) 該当する事業コードをプルダウンより選択してください。

(注2) 前年度交付決定金額

- ①前年度に採択されていない場合は、前年度交付決定額の欄を空欄としてください。
- ②前年度採択されている場合は、同年4月1日付の交付決定金額を当該事業経費明細から転記してください。

(注3) 事業を簡潔に示す名称の記入

研究の内容を簡潔に示す名称を記入してください。複数年研究の場合は、(1年目)、(2年目)も記入してください。

(注4) 費目・節・補助率(A～C列)

- ①費目(A)は旅費、物件費、事業費のいずれかをプルダウンで選択してください。
- ②節目(B)と補助率(C)をプルダウンで選択してください。

(注5) 算出基礎／事業費総額(G列)

- ①節ごとに2段書きとし、上段に支出内容、下段には単価×回数、単価×人数×回数、単価×数量等の算出根拠を入力してください。必ず単位(○回、○人、○日)を記入してください。
- ②算出した節ごとの合計金額の千円未満を四捨五入し、補助対象経費(F列)欄に記入してください。
- ③補助対象経費(F列)と補助金(D)は同じ額となります。

(注6) 小計、総合計(H、I行)

- ①複数年研究の場合は1年目、2年目と分けて作成し、それぞれ小計(H行)を立て、最後に総合計欄(I行)を作成してください。
- ②総合計(I行)の補助金交付要望額及び補助対象経費総額がP7の6・7に記載した金額と一致することを確認してください。

(注7) 自己負担金の調達方法

自己負担金の調達方法の金額の欄に必ず0を入力してください。

4. 補助金要望申請に係る了承証明書

必ずいずれかに○をつけてください

個別・若手・開発・複数年

補助金要望申請に係る了承証明書

1. 所属機関長の了承

下記の者を補助金要望申請者として了承します。

所属機関長・職名

氏名 Ⓜ

平成 年 月 日

2. 代表研究者(申請者)

氏名フリガナ	キカイ タロウ		性別	生年月日 (和暦)	昭和49年10月1日	年齢	41才
氏名	機械 太郎		男				
所属機関名 (大学・学部) 役職	〇〇〇〇大学 大学院工学系研究科 ◆◆◆◆研究センター ▽▽室 特任准教授 ・研究室名等具体的に記載してください。		最終学歴 (専攻分野)	〇〇年〇月 〇〇〇〇大学 大学院工学系研究科△△専攻 博士課程修了			
			学位	工学博士			
所属機関	TEL		FAX				
	〒		e-mail				
	住所						
自宅	TEL		携帯	FAX			
	〒		e-mail				
	住所						
申請者略歴	・学部卒業以降の経歴を西暦で年月から記入してください。						
研究履歴	・過去5年間の著書、論文、掲載された学術誌等の名称、巻(号)・頁を時系列で簡潔に記載し、代表的な論文に○印をつけ、必ずコピーを添付(郵送)してください。						
過去の助成実績	・過去3年間の研究助成の実績(助成年度、研究課題、助成金の名称、助成機関名)を記入してください。(JKA 補助を含む)						

3. 共同研究者

氏名フリガナ	〇〇〇〇		性別	生年月日 (和暦)	昭和60年▲月◇◆日	年齢	32才
氏名	〇〇〇〇		女				
役割分担							
所属機関名 (大学・学部) 役職			最終学歴 (専攻分野)				
			学位				
連絡先	TEL		携帯	FAX			
	〒		e-mail				
	住所						
研究履歴							
過去の助成実績							

4. 会計担当者

氏名			氏名フリガナ		
所属機関名					
連絡先	所属機関	TEL			FAX
		〒			e-mail
		住所			

5. 研究テーマ (図表、グラフ等の貼付可)

テーマ名	平成30年度 ○○○○○○○○ 補助事業				
研究テーマの概要	・この研究で明らかにしようとしている目標について、具体的に記入してください。				
対象となる学問領域	系	分野	分科	細目名	細目番号
	・P33の学問領域リストから該当する項目を選び、記入してください。				
研究の動機と目的	・この研究の意味や価値について記入してください。				
研究の準備	・この研究に向けて行った事前調査や情報収集について記入してください。 ・この研究に関する内外における研究状況についても記入してください。				
研究の実施場所	・大学・研究室等、研究を行う場所を記入してください。				

6. 研究の実施体制(下記のうち、該当するものに○印)

個別研究 (代表研究者を含み合計 名)

若手研究

開発研究

複数年研究

7. 研究成果公表の予定について

・下記のうち、該当するものに具体的な内容を書いてください

項目	内容
① 学会発表(学会名等)	
② 学会誌等へ寄稿(誌名等)	
③ 研究成果の発表を主内容とした 研究報告書・出版・シンポジウム	
④ その他	

8. 申請に係る補助金・助成金の研究の要望について

該当する助成・申請の項に○印を記入してください。

※同一テーマの研究の併願について記入してください。他機関の補助金(助成)を受ける場合は、**本財団補助の対象外となりますので、必ず連絡してください。**

同一テーマの研究において、JKAからの補助金だけを予定している。

同一テーマの研究において、他機関にも補助金(助成)を申請している。

助成金等の名称	申請・助成金額	助成期間 (年・月)	申請結果
○○財団 ▲▲▲▲研究助成	200 万円	年 月～ 年 月	・申請中 ・採択 ・不採択

9. 事業完了予定日 平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

・所属機関長の署名(記名可)、押印のあるものをPDF化し、他の書類とともに事業者フロントに添付してください。

学問領域

系	分野	分科	細目名	細目番号	
総合系	情報学	人間情報学	認知科学	1201	
			知覚情報処理	1202	
			ヒューマンインタフェース・インタラクション	1203	
			知能情報学	1204	
			ソフトコンピューティング	1205	
			知能ロボティクス	1206	
			感性情報学	1207	
	環境学	環境解析学	環境動態解析	1401	
			放射線・化学物質影響科学	1402	
			環境影響評価	1403	
		環境保全学	環境技術・環境負荷低減	1501	
			環境モデリング・保全修復技術	1502	
			環境材料・リサイクル	1503	
			環境リスク制御・評価	1504	
	複合領域	社会システム科学	社会システム工学・安全システム	2201	
			自然災害科学・防災学	2202	
		人間医工学	生体医工学・生体材料学	2301	
			医用システム	2302	
			医療技術評価学	2303	
		健康スポーツ科学	リハビリテーション科学・福祉工学	2304	
			身体教育学	2401	
			スポーツ科学	2402	
			応用健康科学	2403	
	理工系	理工学	ナノ・マイクロ科学	ナノ構造化学	4301
				ナノ構造物理	4302
				ナノ材料化学	4303
				ナノ材料工学	4304
ナノバイオサイエンス				4305	
ナノマイクロシステム				4306	
応用物理学		応用物性	4401		
		結晶工学	4402		
		薄膜・表面界面物性	4403		
		光工学・光量子科学	4404		
		プラズマエレクトロニクス	4405		
		応用物理学一般	4406		

系	分野	分科	細目名	細目番号
理工系	化学	材料化学	有機・ハイブリッド材料	5401
			高分子・繊維材料	5402
			無機工業材料	5403
			デバイス関連化学	5404
	工学	機械工学	機械材料・材料力学	5501
			生産工学・加工学	5502
			設計工学・機械機能要素・トライボロジー	5503
			流体力学	5504
			熱工学	5505
			機械力学・制御	5506
			知能機械学・機械システム	5507
		電気電子工学	電力工学・電力変換・電気機器	5601
			電子・電気材料工学	5602
			電子デバイス・電子機器	5603
			通信・ネットワーク工学	5604
			計測工学	5605
			制御・システム工学	5606
	材料工学	金属物性・材料	5901	
		無機材料・物性	5902	
		複合材料・表界面工学	5903	
		構造・機能材料	5904	
		材料加工・組織制御工学	5905	
		金属・資源生産工学	5906	
	化学工学	プロセス	化工物性・移動操作・単位操作	6001
			反応工学・プロセスシステム	6002
			触媒・資源化学プロセス	6003
			生物機能・バイオプロセス	6004
総合工学		航空宇宙工学	6101	
		船舶海洋工学	6102	
		地球・資源システム工学	6103	
		核融合学	6104	
		原子力学	6105	
		エネルギー学	6106	

5. 補完資料

○補完資料の記入内容

「共通」

- ・事業者名、事業名を必ず記入してください。(1ページ目の右上)
- ・A4横版8枚以内(パワーポイント、ワード、エクセルのいずれか)で表、グラフ、体系図等を用いて簡潔でわかりやすいプレゼン資料としてください。

「振興事業補助」

- ・要望事業のテーマ及び特色(継続事業にあつては、過去の成果実績、改善ポイント、今回要望事業の特徴及び過去の事業との相違点なども含む)
- ・継続事業にあつては、審査・評価委員会で付された過年度における意見への対応状況
- ・複数事業を要望している場合、事業全体の関係図

「公設試対象事業」

- ・機械設備拡充、人材育成等、共同研究の各事業ごとに作成の上、提出してください。
- ・要望事業の特色(機械設備拡充については、過去の同機種の利用実績、要望機器の利用予測、導入効果ポイントを含む)
- ・地域産業との関わりや産業分野の“どのようなところに” “どのように貢献しようとしているのか”
- ・要望に関する決定過程(機種選定委員会、ニーズ調査など)の概略
- ・複数事業を要望している場合の全体関係(複数事業の関係図、必要性、意義など)

「研究補助」

- ・研究開始から最終目標達成までの工程について、いくつかのプロセスに分け、達成目標を明示して、フロー図で示してください。(複数年研究は、1年ごとの達成目標を明示してください)
- ・上記フロー図に沿って、プロセスごとに実施する研究内容(内容及び方法)について記入してください。
- ・それぞれのプロセスごとにおいて、必要となる経費とその内容について示してください。(複数年研究は、1年ごとの区分けもしてください)
- ・開発研究については、新技術または新製品の実用化について明確に記載してください。
- ・複数年研究については、1年目の達成目標が未達成だった場合における研究計画の修正・修正方針について示してください。

IV. 添付書類について

添付書類:反社会的勢力でないことの誓約書

平成 年 月 日	
公益財団法人 JKA 会長 笹部俊雄 殿	
〒	
住 所	
名 称	
代表者名	印 ※

反社会的勢力でないことの誓約書

当団体（法人または個人）は次のとおり反社会的勢力でないことを表明し、誓約いたします。

なお、この誓約が虚偽であり、またはこの誓約に違反した場合には、補助金の全部または一部の交付決定が取り消されても異議を申しません。

1. 現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを誓約いたします。

- (1) 暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「反社会的勢力」という）
- (2) 反社会的勢力と次のいずれかに該当する関係にある者
 - ① 反社会的勢力が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - ② 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - ③ 反社会的勢力を利用していると認められる関係を有すること
 - ④ 反社会的勢力に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - ⑤ 役員または経営に実質的に関与している者が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有すること

2. 当団体（法人または個人）は、自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを誓約します。

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 補助事業を実施するにあたり、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
- (4) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴財団の信用を毀損し、または貴財団の業務を妨害する行為
- (5) その他前各号に準じる行為

※法人の場合は代表者の役職、氏名を記入し、法人登記した印鑑を押印してください。また、研究補助の場合は、**研究者本人が、署名(直筆)**し、押印してください。

添付書類：機器内容についての説明書

○ 要望機器が複数の場合は機器ごとに作成してください。

※ ○○県

蛍光X線分析装置についての説明書

1. 機器の内容

(機器の内容をわかりやすく説明してください。専門用語に偏らず、誰にでも分かるような表現で記載してください)

記入例

蛍光X線分析装置は試料にX線を照射し、発生する蛍光X線のエネルギーを分析することで、試料を構成する元素の種類や量を調べる装置です。非破壊で固体・粉体・液体等の分析を行うことが可能です。

特に本機器はエネルギー分散型であり、一度の測定で複数の元素の種類や量を分析することができるため効率的で、さらに装置の小型化も図られています。

2. 機器の用途 ※2

(機器の用途を具体的に説明してください)

記入例

この機器を導入することにより、県内の中小企業の事業者が主に以下の用途で利用することができます。

- ① 素材・部品材料の分析
- ② ハンダ・合金等の不純物分析
- ③ 電子部品の有害重金属の測定
- ④ 半導体・ディスクの膜厚測定
- ⑤ 廃水・塵埃・汚泥等の分析

3. 新規 or 更新の種別

(新規導入か機器の更新のいずれかを記載してください。更新の場合は、旧設備の導入時期、更新を必要とする理由、当初導入した際に本財団の補助を受けているかどうかを記入してください。)

更新の記入例

今回要望する機器と同種の機器は、平成11年度に日本自転車振興会の補助により導入しておりますが、機器の老朽化が進んでいることに加え、県内事業者のニーズとして、より精密な分析を行うことが求められていることから、要望するものであります。

※ 事業者名を必ず記入してください。

V. 提出書類について(チェックリスト)

申請に必要な書類のチェックリストです。事業別になっておりますので、補助事業ホームページよりダウンロードの上、添付をお願いいたします。

1. 振興事業

	必要書類	チェック欄	備考
要望書類	交付要望書		
	事前計画/自己評価書		
	事業者の概要(1・2)		
関連書類	事業者の概要(3)		
	補助事業の概要(事業の実施予定表)		
	事業経費比較表		
	補完資料		
添付書類	反社会的勢力でないことの誓約書		様式は P.35 参照 ※1
	法人の履歴事項全部証明書 (発行から3か月以内の原本)		※1
	寄附行為・定款		※1

2. 公設試

	必要書類	チェック欄	備考
要望書類	交付要望書		
	事前計画/自己評価書		
	事業者の概要(1・2)		
関連書類	事業者の概要(3)		地独のみ必要。
	補助事業の概要(事業の実施予定表)		
	事業経費比較表		
	補完資料		
添付書類	反社会的勢力でないことの誓約書		※1
	法人の履歴事項全部証明書 (発行から3か月以内の原本)		地独のみ必要。 ※1
	機器の説明書・見積(写)・カタログ		機械設備拡充のみ必要。 様式は P.36 参照 ※2

3. 研究補助

	必要書類	チェック欄	備考
要望書類	交付要望書		
	事前計画/自己評価書		
	事業者の概要(1・2)		
関連書類	補助事業の概要(事業の実施予定表)		
	事業経費比較表		
	補助金要望申請に係る了承証明書		様式は P.31~32 参照
	補完資料		
添付書類	反社会的勢力でないことの誓約書		研究者の署名(直筆)が必要。
	論文		

※1 の書類については、複数事業要望する場合、そのうち1つの申請書類に原本を添付し、その他の申請書類にはコピーを添付してください。その際、コピーに「原本は、インターネット申請番号 18△△○○○に添付」と記載してください。

※2 の書類については、公設試における機械設備拡充事業にのみ必要になります。要望機器内容についての説明書を作成の上、ご提出ください。

VI. 補助事業の評価について

本財団は、補助事業の透明性、効率性を確保するとともに、JKA補助事業の更なる向上を図るため、外部の学識経験者及び有識者による機械振興補助事業審査・評価委員会（以下「委員会」といいます。）を設置してJKA補助事業の評価を行い、その結果を公表することとしています。

補助事業者には、補助事業完了後、事業の実施状況及び「事前計画」で設定した指標及び目標値等の達成状況を自己評価書により自ら確認・評価（自己評価）していただきます。

1. 補助事業評価の目的

JKA 補助事業の評価は、個々の補助事業者が補助方針に沿って行う事業や活動に対して、その補助事業の内容の結果・成果を検証し、補助事業の改善と発展を目指します。

2. 実施方法

評価対象	評価方法
個々の補助事業	個々の補助事業者が、予め定めた事前計画を事業完了時にどの程度実現できたか、その促進・阻害要因を把握し、目標達成状況等を自ら評価します。
	JKA が、個々の補助事業者の自己評価書の内容等をもとに、事業の達成状況や広報状況进行评估します。
JKA 補助事業全体	個々の補助事業から構成される各事業分野における目標達成状況等の評価並びに事業分野を取り巻く環境の整理等を通して、JKA補助事業全体进行评估します。

3. 自己評価の実施時期

- 1回目⇒ 事業完了後2ヶ月以内に、「実施結果」及び「成果」を確認します。
事業完了後、完了報告を行うまでの期間における実施結果や成果の目標達成状況等を確認、報告して頂きます。
- 2回目⇒ 事業完了後一定期間が経過して把握できる「成果」を確認します。
事業実施年度の翌年度末頃に成果の目標達成状況等を確認、報告して頂きます。（事業形態によって時期が異なります。）
機器の整備事業については、導入後の利用状況等の調査を併せて行います。

4. 事前計画の作成にあたって

(1) 事業の「実施結果」と「成果」

自己評価を行うため、事前計画の段階で補助事業の「実施結果」と「成果」を設定し、併せて、それぞれ指標及び目標値を設定します。（以下の説明及び、P40～44「事業形態別記入例」参照）

ア 事業の「実施結果」

事業実施による直接的な産出物、提供したサービス

イ 事業の「成果」

実施結果がもたらす改善効果（変化）

- ① 事業完了後に把握できる「成果」
「実施結果」の直接的影響で、事業実施中・直後に生じる受益者、対象への効果等
- ② 事業完了後一定期間が経過して把握できる「成果」
「実施結果」・「成果（完了直後）」を通じて生じる、受益者、対象への効果等

(2) 評価のための「指標」と「目標値」

事業の「実施結果」「成果」の達成状況を把握し評価するため、「指標(事業の実施結果・成果を評価する物差しとなるもの)」と「目標値(設定した指標について、どのくらいの達成を目指すか数字で表したもの)」を設定します。

以下の説明と、P40～44「事業形態別記入例」を参考に、「指標」と「目標値」を設定してください。

◆指標の設定について

指標を設定する際のポイントは以下の通りです。

- ① 目標値として数値等、具体的な値を設定することができ、その計測が容易(コストや手間から見て現実的である)で、結果が比較的短期間で得られること
- ② 指標を設定する際に、「目標値」を、具体的な数値で設定することができない場合は、「目標値」を文章で記入し、なぜその指標・目標値を設定したかの理由を事前計画の具体的内容欄に記入すること

※指標・目標値を設定する場合は、担当者だけで決めるのではなく、関係者間で十分に検討し、合意のもとで設定してください。

5. その他評価に関して

(1) 評価結果の公開

評価結果は、「競輪&オートレースの補助事業」ホームページで公開いたします。

(2) 委員会における成果の発表

補助事業者には、委員会等で、補助事業の成果を発表していただく場合がございます。

(3) ヒアリング及び現場視察

事業期間中に、本財団へお越しいただき、補助事業についてヒアリングをさせていただく場合がございます。また、委員会委員が、実際に補助事業の現場を見せていただく場合がございます。

(4) アンケート等の実施

事業実施中または事業完了後に、アンケート等を実施する場合がございます。

(5) 中間評価の実施

複数年度(2年間)の研究補助事業は、中間評価を実施する場合がございます。

(6) 追跡調査の実施

事業によって、その後の成果・波及効果等について、追跡調査を実施する場合がございます。

◆下書きシート(事前計画) No.32～No.37 事業形態別 記入例

【B. 機器の整備】

事業形態		項目	下書きシート(事前計画)「事業形態」(No.3)別 達成目標(No.32～No.37) 記入例
分類 記号	事業 形態名		
B	機器の整備	(3)達成目標…事業の実施結果	<p>・事業完了後、計画どおり機器を導入できたかを確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.32 [指標] 導入状況を確認する指標を記入してください。 (例)「導入年月」等</p> <p>No.33 [目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.34 [具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p>◇記入例</p> <p>[指標] 導入年月 [目標値] 平成 31 年 1 月 [具体的内容] 平成 31 年 2 月から利用を開始するため、導入予定を平成 31 年 1 月とした。</p>
		(3)達成目標…事業の成果・波及	<p>・機器の利用開始後 1 ヶ月程度の利用状況等を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.35 [指標] 機器の利用状況を確認する指標を記入してください。 (例)「稼働時間」、「利用件数」、「稼働日数」等</p> <p>No.36 [目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.37 [具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p>◇記入例</p> <p>[指標] 利用件数 [目標値] 60 件 [具体的内容] ニーズ調査で使用を要望した 30 社が月 2 回使用することを想定し、1 ヶ月 60 件とした。</p>

【E. 振興事業(調査・分析・研究開発)】

事業形態		項目	<p style="text-align: center;">下書きシート(事前計画)「事業形態」(No.3)別 達成目標(No.32～No.37) 記入例</p>
分類 記号	事業 形態名		
E	振興事業 調査・分析・研究開発	(3)達成目標：事業の実施結果	<p>・事業完了後、調査・分析・研究開発結果の情報提供ができたかを確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.32[指標] 事業の特徴に合った指標を記入してください。</p> <p>注)上記“事業の特徴に合った指標”以外に、調査・分析・研究開発結果を有効活用するため、適切に情報提供できたかを確認する指標を併せて記入してください。 (例)「HP 掲載報告書閲覧数」、「報告会参加団体数」等</p> <p>No.33[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.34[具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p><u>◇記入例</u> [指標] 報告会参加団体数 [目標値] 100 団体 [具体的内容] 全会員 90 団体及びマスコミ(業界紙)10 社に対し成果報告会の案内を通知することにより、計 100 団体が報告会に参加する。</p>
		(3)達成目標：事業の成果・波及	<p>・調査・分析・研究開発結果を情報提供したことによって生じる成果・波及状況を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.35[指標] 調査・分析・研究開発結果の成果・波及状況を確認する指標を記入してください。 (例)「利活用事例数」等</p> <p>No.36[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.37[具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p><u>◇記入例</u> [指標] 利活用事例数 [目標値] 10 社(報告書配布後1年以内) [具体的内容] 報告書を配布した企業から、調査結果を活用した事業の展開がある。</p>

【E. 研究補助(調査・分析・研究開発)】

事業形態		項目	下書きシート(事前計画)「事業形態」(No.3)別 達成目標(No.32～No.37) 記入例
分類 記号	事業 形態名		
E	研究補助 調査・分析・研究開発	(3)達成目標：事業の実施結果	<p>・事業完了後に、研究の成果を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.32[指標] 研究の成果が、No.25「補助事業の直接的な目的」を達成しているかを確認し、評価するための指標を記入してください。</p> <p>No.33[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.34[具体的内容] 指標と目標値の設定根拠を記入してください。</p>
		(3)達成目標：事業の成果・波及	<p>・論文発表や学会発表等、対外的に発表する予定を記入してください。また、想定している研究成果の利活用についても、具体的内容欄に併せて記入してください。</p> <p>No.35[指標] 発表方法を記入してください。 (例)「学会発表」、「論文掲載」等</p> <p>No.36[目標値] 発表件数を記入してください。 複数の方法で発表を予定している場合は、それぞれの件数を記入してください。</p> <p>No.37[具体的内容] 発表時期及び発表先を記入してください。 <u>論文発表については、査読付きである場合その旨も記入してください。</u> ・研究成果の利活用についても併記してください。</p> <p>◇記入例</p> <p>[指標] 1. 学会発表 2. 論文掲載</p> <p>[目標値] 1. 2件 2. 1本</p> <p>[具体的内容] 1. 平成31年3月〇〇学会、5月△△学会にて発表。 2. 平成32年2月□□学会誌(査読付き)に投稿する。 ・本システムは医療診断機器への適用が有力であり、実用化に向け企業との共同開発を行う。</p>

【F. イベント開催】

事業形態		項目	<p style="text-align: center;">下書きシート(事前計画)「事業形態」(No.3)別 達成目標(No.32～No.37) 記入例</p>
分類 記号	事業 形態名		
F	イベント開催	(3)達成目標・事業の実施結果	<p>・事業完了後、事業の実施結果を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.32[指標] 事業の特徴に合った指標を記入してください。</p> <p>注)上記“事業の特徴に合った”指標以外で、事業の実績を確認する指標を併せて記入してください。 (例)「参加者数」、「実施回数」等</p> <p>No.33[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.34[具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p>◇記入例 [指標] 講習会参加者数 [目標値] 前年度比 10%増 [具体的内容] 募集期間を前年より 1 ヶ月延ばすことにより、講習会の参加者数は前年度に比べ 10%増となる。</p>
		(3)達成目標・事業の成果・波及	<p>・事業の実施結果を通じて生じる成果・波及状況を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.35[指標] 参加者のその後の変化や社会への影響等、事業の成果をはかる指標を記入してください。</p> <p>No.36[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.37[具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p>

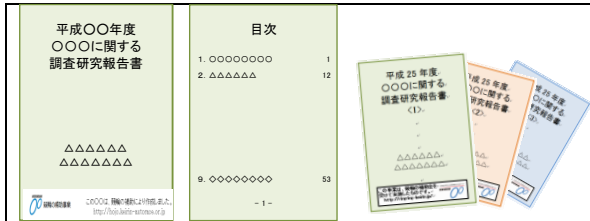
【G. 事業・サービス】

事業形態		項目	<p style="text-align: center;">下書きシート(事前計画)「事業形態」(No.3)別 達成目標(No.32～No.37) 記入例</p>
分類 記号	事業 形態名		
G	事業・サービス	(3) 達成目標・事業の実施結果	<p>・事業完了後、事業の実施結果を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.32[指標] 事業の特徴に合った指標を記入してください。</p> <p>注)上記“事業の特徴に合った”指標以外で、事業の実績を確認する指標を併せて記入してください。 (例)「相談件数」等</p> <p>No.33[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.34[具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p><u>◇記入例</u> [指標] 相談件数 [目標値] 100 件 [具体的内容] 前年度実績(80 件)をもとに設定。</p>
		(3) 達成目標・事業の成果・波及	<p>・事業の実施結果を通じて生じる成果・波及状況を確認するための指標及び目標値を設定します。</p> <p>No.35[指標] 事業の成果をはかる指標を記入してください。 (例)「問題解決数」等</p> <p>No.36[目標値] 指標に対する目標値を記入してください。</p> <p>No.37[具体的内容] 目標値の設定根拠を記入してください。</p> <p><u>◇記入例</u> [指標] 問題解決数 [目標値] 相談件数の7割 [具体的内容] その後フォローアップを行い、全相談件数のうち 7 割の問題解決を目指す。</p>

VII. 補助事業の実施内容及び成果の公表について

1. 本財団は、より一層広く社会から理解されることを目指し、「競輪&オートレースの補助事業」ホームページ内で個々の事業を分かりやすい内容で紹介し、補助事業の遂行に取り組んでいます。
2. 事業の内容は、途中経過から最後の事業報告書(レポート)に至るまで一貫して、出来る限り補助事業者のホームページやブログで公表をしてください。
3. 補助事業をする際や、成果を公表するページには、競輪またはオートレースの補助を受けたことが分かるように表示してください。<例:「この事業は、競輪の補助を受けて実施します。」>
4. 事業終了後は速やかに「補助事業概要の広報資料」を作成してください。その際には、より下記の内容を盛り込んだ具体的で分かりやすい内容としてください。
 - ・補助事業の内容(実施状況を伝える内容等)
 - ・実施活動の様様(講演会・相談会・イベント等)のイメージを掴む写真
 - ・本事業により作成した成果物等
5. 成果物等の内容を可能な限り可視化し、一覧性ある構成内容として表現するため、各成果物の写真(車両、機器、報告書の表紙・パンフレット等を可能な限り可視化)と補助事業者 HP(ブログ)当該部のリンク構成を基本とします。

例 1) 報告書・パンフレット等



例 2) 機器



例 3) シンポジウム、講習会、講演会等



6. 事業紹介の内容例(短冊)

本財団では、補助事業が完了した後に、新聞等で下記のようにわかりやすく広報しておりますので、採択された場合は、事業の説明文と写真の提供にはご協力をお願いいたします。

<p>競輪は社会に役立つ活動を応援しています。</p>  <p>省エネ等政策支援調査研究 社会の情勢変化に合わせて報告会やシンポジウムを開催。 活動を支援しています。</p> <p>〇〇研究機構 / 〇〇県</p>	<p>オートレースは社会に役立つ活動を応援しています。</p>  <p>標準化対応に関する調査研究 国際競争力の強化を図る為の調査研究ならびに国際会議へ参画。排出物等に対する規制強化に対応する為の標準化を支援しています。</p> <p>〇〇協会/〇〇県</p>
<p>オートレースは社会に役立つ活動を応援しています。</p>  <p>公設工業試験研究所等の設備拡充 地域企業が購入することが難しい分析装置や試験研究用機器を導入整備し、製品・部品の信頼性及び安全性の向上を目指す中小企業の取り組みを支援しています。</p> <p>〇〇県産業センター/〇〇県</p>	<p>競輪は社会に役立つ活動を応援しています。</p>  <p>研磨パッドの機上再生技術の開発 研磨パッドの交換に伴う時間と労力を低減し、最終製品のコスト低減が可能になる技術の開発を支援しています。</p> <p>〇〇大学工学部/〇〇県</p>



要望書提出先

公益財団法人 JKA

〒108-8206
東京都港区港南一丁目2番70号
品川シーズンテラス25階

補助事業部 機械振興事業課

JKA補助事業ホームページアドレス

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>